

## 多次元入試研究会

本年度「総長裁量経費」をいただいて、高大接続を基調とした大学入試改革の検討を本学部でも開始しました。その一環として原則月一回、大学入試に詳しい内外の専門家や実際に入試改革に取り組んでいる学内の教員の方々を講師に招いて研究会を開いています。以下のように、これまで特別回を加えて合計6回開催しました。研究会は原則、教職員、学生どなたでも参加できます。また多くは、京都大学OCWによって配信されていますので、どなたでも視聴できます。またこれと並行して8月のオープンキャンパス、11月の東アジアの国際シンポジウム、12月のE.FORUMでも大学入試をテーマに、シンポジウムを開催しています。大学入試改革が大学の最重要課題のひとつであり、社会的にも関心の大きな事項であることを考えますと、できるだけ幅広い層から、多くの人的ご意見をいただきつつ、より望ましい入試改革の方向を提言できればと願っています。

(教育学研究科長 前平泰志)

- 第1回：平成24年7月12日（木）  
南部 広孝 准教授（京都大学 教育学研究科）  
「東アジア地域の入試改革の動向から京大入試のあり方について考える」
- 第2回：平成24年8月20日（月）  
楠見 孝 教授（京都大学 教育学研究科）  
「批判的思考力の評価」
- 第3回：平成24年8月20日（月）  
大塚 雄作 教授（京都大学 高等教育研究開発推進センター）  
「教育評価と大学入試」
- 第4回：平成24年10月4日（木）  
惣脇 宏 教授（京都大学 学際融合教育研究推進センター）  
「入試改革と大学入試センター」
- 特別回：平成24年11月21日（水）  
Prof. Dr. Lothar Wigger （ドルトムント工科大学 教育科学・社会学部）  
「ドイツにおけるアビトゥアと学究能力をめぐる議論」
- 第5回：平成24年11月29日（木）  
萩原 正敏 教授（京都大学 医学研究科）  
「入試改革と京大予科構想：京大医学部は不治の病の治療に挑戦する医師を育てたい」
- 京都大学OCW（Open Course Ware）→ 公開講義→ 多次元入試研究会  
<http://ocw.kyoto-u.ac.jp/opencourse/33>